



参与退任後、支所長は専任で部長級とすべきである

活緑クラブ
川勝 儀昭 議員

部長級にと考えるが、課長兼務、専任はまだ検討中

八木支所



支所長には部長級を

丹政クラブ
外田 誠 議員

部長級とし3課体制は堅持

市長



「年越し派遣村」の再来を許さない

バス交通網の整備を

日本共産・住民協働市会議員団
大西 一三 議員

窓口体制の充実を図る

市長



低い職員給与の改善を

園部川・天神川・陣田川合流点

活緑クラブ
矢野 康弘 議員

財政状況を考慮し検討

市長

問 本市の職員給与は、全国1760余りの市町村のうち下から20位、近畿圏内の市では最下位ある。あまり低いと労働意欲を減退させる。府の中間にまで引き上げるべきと考える。具体的には、課長級を6級にして、順次引き上げる必要がある。管理職手当もいつまでも減額すべきでなく、給与格差も是正するべきと考えるが。

問 給与改善に向けて今後とも努力しなければならないと考えている。

問 深刻化する市民の雇用とくらしのもと、年末をひかえ特別の対策が求められるが、府に要望されるが。

問 「くらしの相談窓口」の設置②くらしの資金等の利用の周知と案内徹底と利活用のすすめ③子どもの犠牲を防ぐため、学校を通じて保護者に制度の周知徹底④市内失業者を把握し市職員の訪問相談活動⑤孤独死を出さないため、独居老人への訪問相談活動などを行なう考えはない。

問 窓口体制の充実をして務めていただく。

問 参与制廃止後も支所には、一定の権限と機能が必要である。そのためには、支所長は部長級とするべきであり、3課体制は堅持しなければならない。また、参与が代表を務める第3セクター等の役員はどうなるのか。

問 支所長には、部長級を配置し、3課体制は堅持していく。また、参与が役員を務める団体については、任期中は継続して務めていただく。

問 第3セクター等の公益法人改革の方針は

問 防災計画の策定が急務 地域の実状を考慮した行政、消防等の連携

問 行政、消防等の連携体制の地域防災計画は策定されているが、地域における具体的な行動計画の実行が所見を伺う。

問 支所職員半減後、民間サービス低下は否めない事実である。再三質問してきたが、参与退任後の体制の明確な答弁を伺う。

問 支所長は部長級にと考えている。専任の支所長か、課長職との兼務かは、まだ検討中である。

問 第3セクター等の公益法人改革の方針は

問 第3セクター等の公益法人は、地域振興に重要な役割を果たしてきた。市は改革を進める方針であるが、基本的な考え方を伺う。

問 財政健全化法により、市が出資した団体の債務も市の財政健全化の判断指標に算定されるため、見直しが必要である。自立に向けて、団体の整理統合、市の関与の見直し、活性化に向けた環境整備を進めていく。

問 新たな課題に鑑み、いち早く地域ごとの連絡体制がとれるよう、避難勧告マニュアルの整備に取り組んでいる。

問 社協八木支所の大規模修繕が必要となる。軽微なものは社協で対応している現状であるが、市長の所見を伺う。

問 社協と協議の上、費用負担する。大規模修繕の原因把握や修繕の方策も鋭意検討している。

問 池ノ内ほ場整備と関連事業は計画通り遂行が必要

問 21年度事業を22年度に繰り下げ、2年間でほ場整備の面的工事を実施するが、関連する河川、道路改修の状況を伺う。

問 地元の強いご意向も受け、計画年度で完了するよう努力する。板野川は下流の浸水被害のないよう調整池と合わせ計画している。府道改修はが、今後も努力していく。

問 地元要望を考慮した道路整備が必要

問 美山町の学校給食の取り組みは、中学校給食の実施、地産地消、食育の取り組み等、モデル的である。しかし、施設機械は老朽化しており、事故等の可能性も高くなっている。早期の全面改修が必要とを考えるがどうか。

問 合併は素晴らしい選択であったと認識している。早い時期に実施するのが望ましいが、まだ検討中である。

問 ①神吉、水所間の新設道路の凍結等の安全対策と日置地区への排水対策②府道郷ノ口室河原線の市道への移管前の氷所の河川改修と合わせ地元要望にこたえ調整している。②供用後または市への移管までに地元と調整の上、執行予定である。

問 ①急勾配の危険箇所は様々な凍結防止対策と発光式の気温や凍結表示を行う。排水対策は府の河川改修と合わせ、地元要望にこたえ調整している。②供用後または市への移管までに地元と調

